

松戸市立第一中学校

みらい分校だより



にゅうがく

入学おめでとございます

～みらい分校を心からの居場所に！～

11日、みらい分校の入学式が行われ、9名の新しい仲間を迎えました。世代も様々な6カ国(日本・中国・フィリピン・アフガニスタン・モンゴル・ガーナ)の人たち合わせて24名が学び直す一年のスタートです。

式の後には、少しでも早くみらい分校の仲間と仲良くなれるようにと、在校生が中心となって「新入生を祝う会」を行いました。

入学式で印象に残った言葉を紹介します。

《新入生代表の言葉より》

「(前略) 私はこの日をとても楽しみにしていました。なぜなら、『勉強をしたい。学校に通いたい』と思いつつ、忙しい日々の中で自分の時間を作ることがむずかしく、学校へ通うことをあきらめていたからです。ですが、家族や周囲の人たちの協力により、このみらい分校に通えることになりました。(中略) これから色々なことに挑戦して一日も早くみらい分校の学校生活に慣れるようにがんばります。」



《在校生歓迎の言葉より》



「(前略) みなさんの中には、これまで大変なご苦労をされてきた人や、日本以外の国で育ち日々の生活の中で困難な思いをされている方もいらっしゃるのではないかと思います。私の実体験から、このみらい分校は、安心して通うことのできる学校です。一人一人を認め合い、いじめもありません。ぜひ心からの居場所にしてほしいです。(中略) くれぐれも体調に気をつけて、一緒にがんばっていきましょう。」

《校長先生の話より》

「(前略) みらい分校では、年齢も国籍も、これまでの経験も違う仲間と学びます。皆、学びたいという気持ちを持って入学してきた仲間です。だからこそ今日の出会いを大切にしましょう。(中略) 在校生、職員一同みんなで、これから始まる皆さんの学校生活を応援していきます。」



You can do it. We all help your school life.

卒業の日まで一人ひとりが充実した学校生活を送ることを願い式辞といたします。」

